

「新校開設に向けた基本構想及び基本計画」策定後の新校校舎配置位置等の検証結果

1 新校建設設計に関わる検証の観点

(1) 児童の安心・安全の確保と授業の継続性

- ・ 工事区域・動線と学校区域・動線を明確に分離する。
- ・ 工事が授業の妨げとならないように配慮する。

(2) 事業期間の短縮と事業費の低減

- ・ 仮設校舎を設けずに新校校舎建設を1期で行う。
- ・ 整備面積・規模等の最適化を図る。

(3) 将来的な計画自由度の確保

- ・ 新校建設後の将来的な増築を見据えて新校校舎の配置をする。
- ・ 新校校舎配置を整形地にして設計自由度を上げる。

2 新校校舎配置位置

- ・ 現在の清瀬小学校校庭を新校校舎及び体育館棟の配置場所とする。

